

## 地域生活支援拠点等の整備についての課題整理シート

機能別	番号	分類	課題	緊要度	対策
相談支援	1	体財	相談支援専門員が抱える相談件数が多く丁寧な支援が出来ていない。また、障害福祉サービスや関係する制度の仕組みを理解し、適切なサービスや機関に繋げる事が必要。	A1	相談支援の強化の為、面的整備。 相談支援の充実の為、適切な人材の確保と、相談支援専門員の質の向上として福祉制度の知識や理解を深めることが必要(ケースワーカーの資質向上)。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	2	体財	重度や重複障害者の方がたらい回しにされる傾向にある。	A1	ワンストップの相談支援体制のために、地域生活支援拠点内に基幹型相談支援センターを設置する。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	3	体財	夜間対応、緊急時、休日対応の相談体制がない。	A1	夜間対応可能な相談体制を構築。 土日開所できる体制。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
体験機会・場の提供	1	資	第4期昭島市障害福祉計画のサービス見込み量が50人不足。	A1	新しい生活介護事業所が1カ所以上必要。不足分についても対策を講ずる。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	2	資財	昭島市内に医療型生活介護がない(医療ケア可能なサービス必要)。	A1	地域生活支援拠点内に生活介護事業所(医療対応可)を設置。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	3	知資	ご家庭の都合により生活介護事業所に通えなくなる。	A1	資:短期入所の拡充。 資:グループホームの設置。 知:緊急の事態を想定して地域福祉権利擁護事業や成年後見制度等の利用を周知する。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	4	資	市内のグループホームにショートステイを受けれている枠がない(併設型)	A1	ショートステイは緊急だけでなく体験の場として活用。単独型のショートステイを設置。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	5	資	生活訓練のサービス提供事業所がない。	A1	生活訓練事業所の設置。
緊急時の受け入れ対応	1	資	(再掲)ショートステイが不足。	A1	短期入所は最低4床必要。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	2	体財	緊急一時保護事業が昭島市内にない。	A1	昭島市内に緊急一時保護事業をつくる。 《地域生活支援拠点事業にて実施》
	3	体	災害発生時、発生後の安否確認や福祉避難所や避難所での受け入れ等の対策が未確立。	A1	安否確認の具体的な方法と福祉避難所や避難所での受け入れ、学校バリアフリーの問題等発災後の支援策を検討する。 《地域生活支援拠点事業にて実施》《昭島市地域支援協議会で検討》

◎課題の分類  
 連…連携に関わる課題  
 人…人員に関わる課題(人員不足、配置等)  
 体…体制や制度に関わる課題  
 資源…社会資源に関わる課題(財源とも関連はある)  
 知…市民等へのお知らせ、周知にかかわる課題  
 財…財源、予算に関わる課題  
 学…学習会に関わる課題(養成等のスキルアップ)

◎必要度  
 A…「必ず必要」  
 B…「あるといい」

◎緊急度  
 1…「急ぎ」  
 2…「順次で」